

ごあいさつ



『元気に明るく成長する』学校 づくり

本校が掲げるテーマは『元気に明るく成長する』です。この2年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波が断続的に続き、これからも感染対策が必要な日々が続きます。

そのような中ではありますが、人生でもっとも大切なこと、それは何をおいても、やっぱり「元氣」でいなければならないということです。二度とない人生を心身ともに元氣で過ごし続けること。大原則ではないでしょうか。

また、そこに「明るさ」を持つこと。いや、持ち続けること。明るさがあるからこそ、希望が生まれ、内面から力が生まれ、突破口を開き、その素敵な輪が果てなく伝わり拡がるのです。

元氣に明るく、一日一日を大切に生きておれば、必ずや成長を実感できるはず。その成長を支援し、理解し、助けてくれる人がいることにも気づくでしょう。自然と感謝の心も生まれるはず。そういう輪の中心が、この小野工業高校であり続けたい。

このことは、本校着任3年目の今年も変わらず、思い続け、実践し、つないでいきたいテーマです。

『あたりまえ』を大切にすること 〈凡事の徹底〉

たとえば、授業を大切にすることはあたりまえです。授業開始時の挨拶のあり方、授業終了時の挨拶のあり方。その2つだけでも、きっちりと思いを持って大切にできるだけで、授業の質も自然と上がる。学習に対する姿勢も良くなる。やる気、意欲も出ましよう。

マナー、モラル、礼儀、そして感謝など、あらゆる『あたりまえをおろそかにしない』取組を習慣化したい。

あたりまえの、その実践の中でできること、できたことを実感させる。

そんなところから人間としての大切な素養を身につけ、無限の可能性を広げ、つなげていければと考えます。

本校はものづくりを通して、人間力を育み、高める学校です。地元を中心に、ふるさと兵庫をつくり、貢献する人材を育てる大切な使命を持った学校です。

生徒に見せる私たち教職員自身の姿と、言葉を意識しつつ、今日も『元氣に明るく成長する』学校として、一丸となって進んで参ります。

私は、本校着任3年目となりますが、本当にこの学校が大好きです。本校の校長であることに誇りと深い愛着を感じます。本校はもっといい学校になります。必ずなります。

みなさま、本校へのご支援、ご声援をどうぞ、よろしく願いいたします。

令和4年4月

県立小野工業高等学校 校長 東矢 憲了